

平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 協立電機株式会社
 コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 西 雅寛
 (氏名) 中木 照雄

TEL 054-288-8888

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	7,294	7.5	262	83.0	339	124.5	196	121.3
26年6月期第1四半期	6,784	△6.3	143	△41.9	151	△49.2	88	△41.0

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 277百万円 (129.9%) 26年6月期第1四半期 120百万円 (△22.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	49.89	—
26年6月期第1四半期	22.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第1四半期	21,419	8,046	36.1
26年6月期	19,840	7,776	37.7

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 7,727百万円 26年6月期 7,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	32.50	32.50
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	0.1	430	5.0	520	3.7	250	△19.0	62.75
通期	29,000	6.2	900	35.0	1,000	33.0	500	5.5	125.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期1Q	4,369,200 株	26年6月期	4,369,200 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年6月期1Q	384,896 株	26年6月期	463,056 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期1Q	3,934,837 株	26年6月期1Q	3,964,811 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、平成26年4月に実施された消費税増税の影響による消費の落ち込みから完全な回復までには至っていないこと、主たる生産現場の海外比重が一段と高まっており輸出の伸びも緩やかなものである等、一部には弱い動きも散見され、景気の回復は比較的緩やかなものとなりましたが、製造業を中心とした企業業績は概して好調で、さらに株高や円安ドル高傾向が強まったことから国内投資にも活発な動きが見られる等景気には明るさが見える状況で推移しました。

当社グループとしましては、斯様なビジネス環境下において、この10余年にて構築した中国、東南アジアを中心とした海外ネットワークをフルに活かし、我が国製造業の海外への製造拠点移管により発生する新たな設備投資需要を積極的に取り込む努力を続けてまいりましたが、近年、東南アジア諸国を中心に新規現法の設立及び既存現法の設備と人員の増強を進めた結果、ビジネスの地域的拡大と深耕が進んでおり、また国内部門においても新製品が牽引役となり受注・売上が好調であったこと等により前年同四半期と比較し、増収・増益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は72億94百万円（前年同四半期比7.5%の増）となり、損益面としましては、営業利益が2億62百万円（同83.0%の増）、経常利益が3億39百万円（同124.5%の増）、四半期純利益が1億96百万円（同121.3%の増）となり、特に経常利益と四半期純利益は第1四半期時点で過去最高となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、設備投資回復や公共投資の増加等によるシステムビジネスが好調で採算も改善したこと、太陽光発電をはじめ再生エネルギー・環境・省エネ関連の受注・売上が伸張したこと等から、セグメント全体としては増収・増益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は25億40百万円（前年同四半期比4.0%の増）、営業利益は1億30百万円（同201.1%の増）となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第1四半期連結累計期間においては設備投資の改善傾向に加え試験研究のための科学分析機器や省力化のためのロボット等のビジネスが順調に拡大したため、増収・増益となりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は47億38百万円（前年同四半期比9.6%の増）、営業利益は1億81百万円（同7.6%の増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計額は214億19百万円で、前連結会計年度末に比べ15億78百万円の増加となりました。これは主として取引の伸張等により受取手形及び売掛金が11億39百万円増加したこと、静岡市駿河区での土地取得等により有形固定資産が2億55百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が133億72百万円で、前連結会計年度末に比べ13億8百万円の増加となりました。これは主として運転資金の増大により長短借入金が合計で13億62百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が80億46百万円で、前連結会計年度末に比べ2億69百万円の増加となりました。これは配当を1億28百万円実施しましたが、四半期純利益1億96百万円計上したこと、自己株式処分によりその残高が96百万円減少したこと及び株価上昇によりその他有価証券評価差額金が63百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現下の世界主要国の経済情勢は、米国経済が順調に拡大基調を続けていること、地政学的リスクを抱える欧州経済も小康状態を保っていること、成長率が落ちていた中国経済も安定成長へ軟着陸できそうなことに加えこのところ低迷していた東南アジア経済もタイの政情安定化やインドネシア大統領選で波乱がなかったこと等から、世界経済全体としては期待成長率には届いていないものの、緩やかな拡大傾向を続けておりこの傾向が当分継続されるものと予想しております。

一方我が国経済の足元は本年4月消費税増税からの消費回復が若干長引いていることはありますが、公共投資の増加や円安ドル高等の影響により製造業の設備投資マインドも改善しつつあり、当社グループを取り巻くビジネス環境は改善傾向が続いております。

斯様な環境下、当社グループは我が国製造業の海外への製造拠点移転により発生する新規需要を当社グループの海外子会社ネットワークをフルに活かして積極的に取り込んでおり、近年拠点を開設したベトナムやインドネシアでも取引が順調に拡大しているのに加え、本年9月に営業開始したフィリピンの拠点も今後、取引を拡大していくことが期待できます。

また国内においても、省エネ・省電力が社会の大きな流れであることから、時流に乗った自社製品の開発を心掛けており、スマートグリッド技術に当社グループが得意とするインテリジェントFA技術を融合させ、電力使用状況により最適な電気使用量を自動調整する「グリッド・グリーン」や波のエネルギーを利用して発電を行う越波式電力発電装置の開発を行い、各方面から注目されると共に好評を得ています。またクラウドサービスとインターネット回線で繋ぐことにより遠隔地の情報が画像または計測データという形でユーザーに提供でき、当社で初めてのB to Cビジネスにも展開できる「KDLinX」も本年1月に発売開始以来好評を得ており、加えて最新鋭の画像技術を駆使した半導体基板検査装置も順調で、これらの製品群が今後の業績を確実に押し上げていくものと考えております。

以上により、平成27年6月期の通期業績予想につきましては、平成26年8月8日の決算短信にて発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。なお、当実務対応報告適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理につきましては、従来採用していた方法を継続するため、当実務対応報告の適用による四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	898,794	955,433
受取手形及び売掛金	9,335,019	10,474,701
有価証券	482,266	230,738
商品及び製品	311,247	407,679
仕掛品	434,691	508,621
原材料	601,955	631,749
その他	389,377	378,865
貸倒引当金	△55,858	△56,940
流動資産合計	12,397,494	13,530,850
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,459,184	4,705,329
その他(純額)	927,964	937,118
有形固定資産合計	5,387,149	5,642,447
無形固定資産		
	102,333	98,013
投資その他の資産		
投資有価証券	1,372,796	1,548,457
その他	665,865	685,159
貸倒引当金	△84,731	△85,806
投資その他の資産合計	1,953,930	2,147,810
固定資産合計	7,443,413	7,888,270
資産合計	19,840,907	21,419,121
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,522,734	7,150,780
短期借入金	3,000,000	3,870,000
1年内返済予定の長期借入金	28,280	28,331
未払法人税等	159,222	146,921
賞与引当金	112,045	244,959
役員賞与引当金	29,100	-
その他	520,716	716,662
流動負債合計	11,372,098	12,157,654
固定負債		
長期借入金	18,783	510,951
退職給付に係る負債	162,253	177,277
その他	511,272	526,975
固定負債合計	692,309	1,215,204
負債合計	12,064,407	13,372,858

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,835,131	1,846,793
利益剰余金	4,655,628	4,724,874
自己株式	△569,458	△473,331
株主資本合計	7,362,741	7,539,776
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124,158	187,968
その他の包括利益累計額合計	124,158	187,968
少数株主持分	289,600	318,516
純資産合計	7,776,499	8,046,262
負債純資産合計	19,840,907	21,419,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	6,784,727	7,294,888
売上原価	5,802,326	6,147,323
売上総利益	982,401	1,147,565
販売費及び一般管理費	839,094	885,285
営業利益	143,306	262,280
営業外収益		
受取利息	3,496	3,004
受取配当金	1,465	1,314
仕入割引	7,533	8,815
持分法による投資利益	3,226	-
負ののれん償却額	908	-
為替差益	-	62,390
貸倒引当金戻入額	-	1,302
雑収入	4,862	5,411
営業外収益合計	21,493	82,239
営業外費用		
支払利息	4,366	4,281
手形売却損	1,209	149
売上割引	702	773
為替差損	5,305	-
雑損失	2,110	15
営業外費用合計	13,694	5,220
経常利益	151,105	339,299
特別利益		
固定資産売却益	-	314
投資有価証券売却益	22,459	964
段階取得に係る差益	-	2,498
特別利益合計	22,459	3,777
特別損失		
固定資産除却損	3,537	136
固定資産売却損	532	-
特別損失合計	4,069	136
税金等調整前四半期純利益	169,495	342,940
法人税等	77,545	136,041
少数株主損益調整前四半期純利益	91,950	206,898
少数株主利益	3,262	10,591
四半期純利益	88,688	196,307

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	91,950	206,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,689	70,449
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	-
その他の包括利益合計	28,673	70,449
四半期包括利益	120,624	277,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,343	259,070
少数株主に係る四半期包括利益	7,281	18,277

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,443,657	4,322,289	6,765,947	18,780	6,784,727
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,985	36,246	54,231	14,438	68,670
計	2,461,642	4,358,536	6,820,179	33,219	6,853,398
セグメント利益	43,416	168,335	211,751	23,208	234,959

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	211,751
「その他」の区分の利益	23,208
全社費用(注)	△91,652
四半期連結損益計算書の営業利益	143,306

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,540,696	4,738,967	7,279,664	15,224	7,294,888
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,942	26,946	52,888	17,940	70,829
計	2,566,639	4,765,913	7,332,552	33,165	7,365,718
セグメント利益	130,726	181,086	311,812	21,687	333,500

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	311,812
「その他」の区分の利益	21,687
全社費用(注)	△71,219
四半期連結損益計算書の営業利益	262,280

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。